



CHAPTER 2

Cisco TelePresence Touch 12 を使用した コールの管理

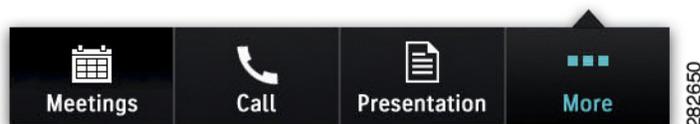
内容

- 「セルフ ビューの使用」 (P.2-1)
- 「カレンダーの確認」 (P.2-2)
- 「会議への参加」 (P.2-4)
- 「コールの開始」 (P.2-6)
- 「コールへの応答」 (P.2-11)
- 「コールのミュート」 (P.2-13)
- 「自分自身の保留/再開」 (P.2-14)
- 「音量その他のコール設定の制御」 (P.2-15)

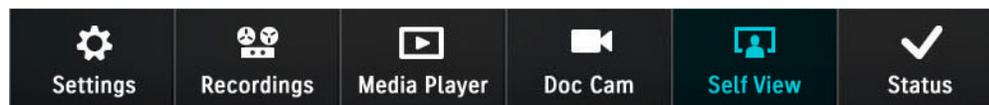
セルフ ビューの使用

会議の前にセルフ ビューを使用して自分自身を表示するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタン バーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタン バーが表示されます。

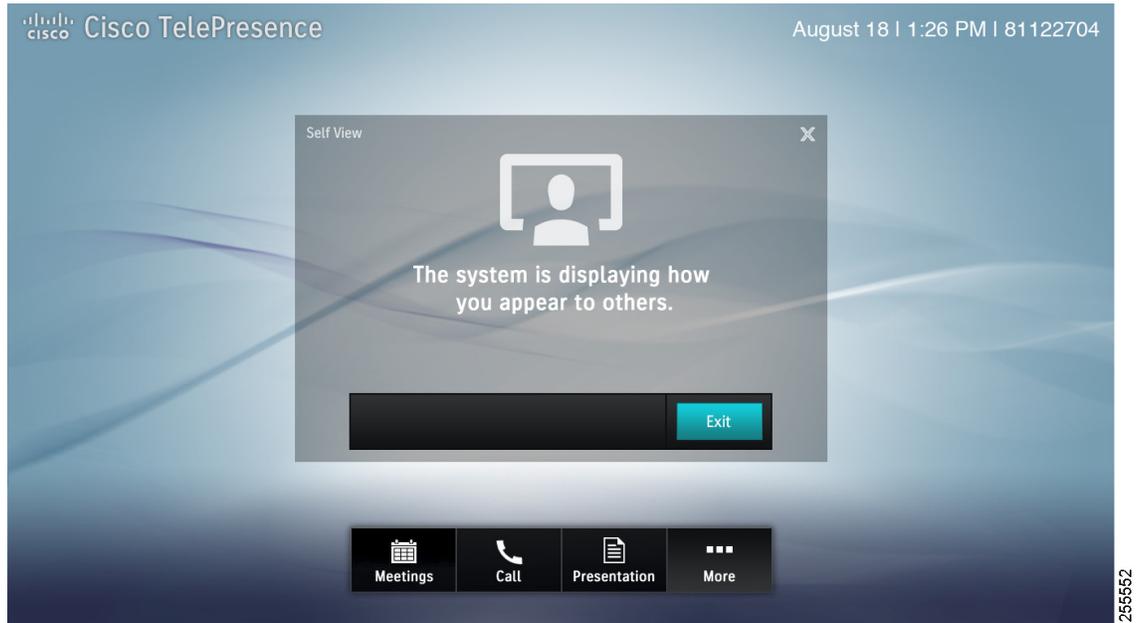


ステップ 2 セカンダリ ボタン バーの [Self View] をタップします。



セカンダリ ボタン バーが消え、Cisco TelePresence Touch 12 に [Self View] 画面が表示されます (図 2-1)。ミラー イメージが CTS 画面に表示されます。複数のカメラを使用している場合は、自分自身の表示に使用するカメラを選択できます。

図 2-1 [Self View] 画面



ステップ 3 [Exit] をタップしてウィンドウを閉じ、[Self View] モードを終了します。

カレンダーの確認

システムで会議がスケジュールされている場合、会議カレンダーを確認できます。

ステップ 1 プライマリ ボタンバーの [Meetings] ボタンをタップします。[Meetings] ウィンドウが表示されます (図 2-2)。

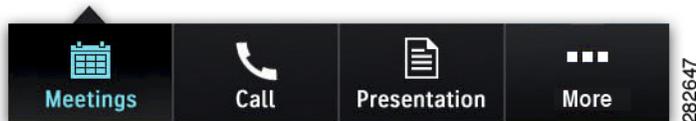
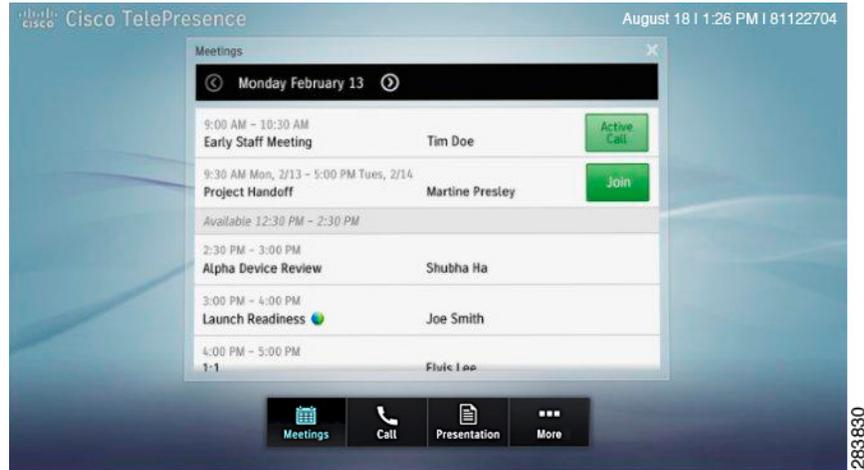
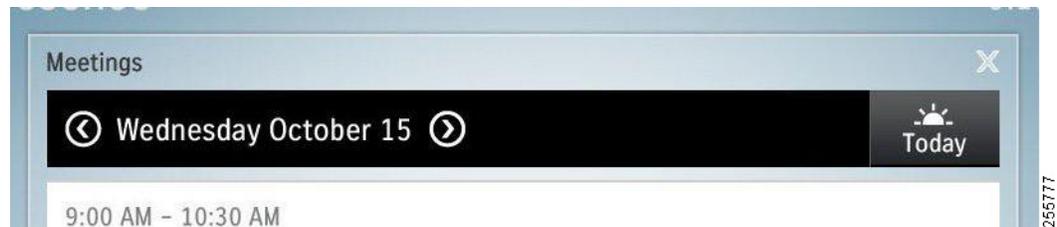


図 2-2 Cisco TelePresence Touch のスケジュールされた会議のウィンドウ



ステップ 2 移動するには、[Meetings] ウィンドウの上部にあるアイコンをタップします (図 2-3)。

図 2-3 会議画面のナビゲーション



1 日単位で進んで将来の会議を確認するには、[Forward] アイコンをタップします。



1 日単位で戻るには、[Back] アイコンをタップします。



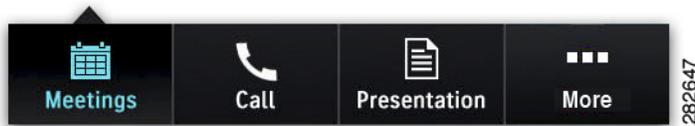
直接当日に戻るには、[Today] アイコンをタップします。



会議への参加

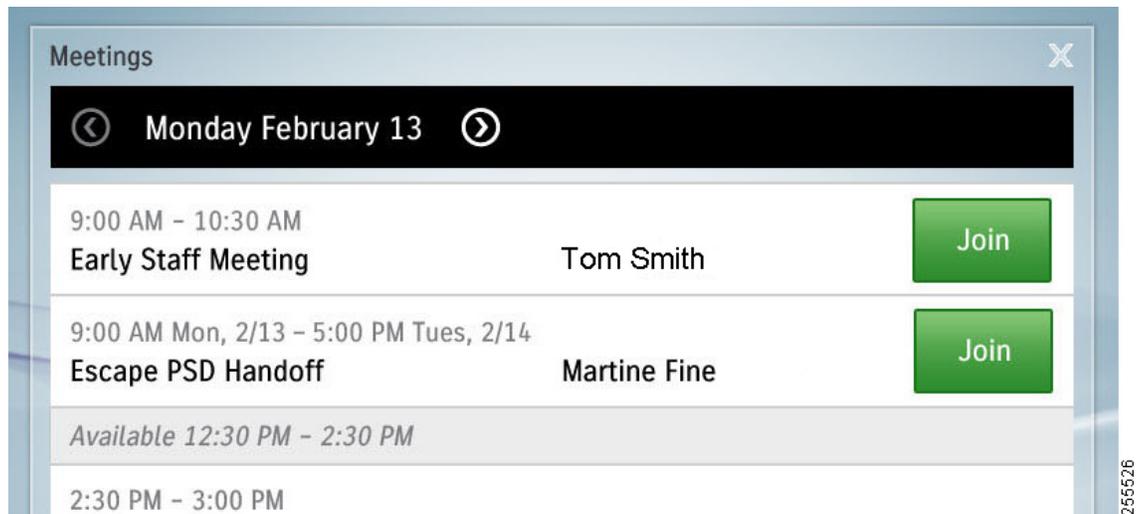
スケジュールされた会議に参加するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタンバーの [Meetings] ボタンをタップします。



[Meetings] 画面が表示されます (図 2-4)。

図 2-4 [Meetings] 画面



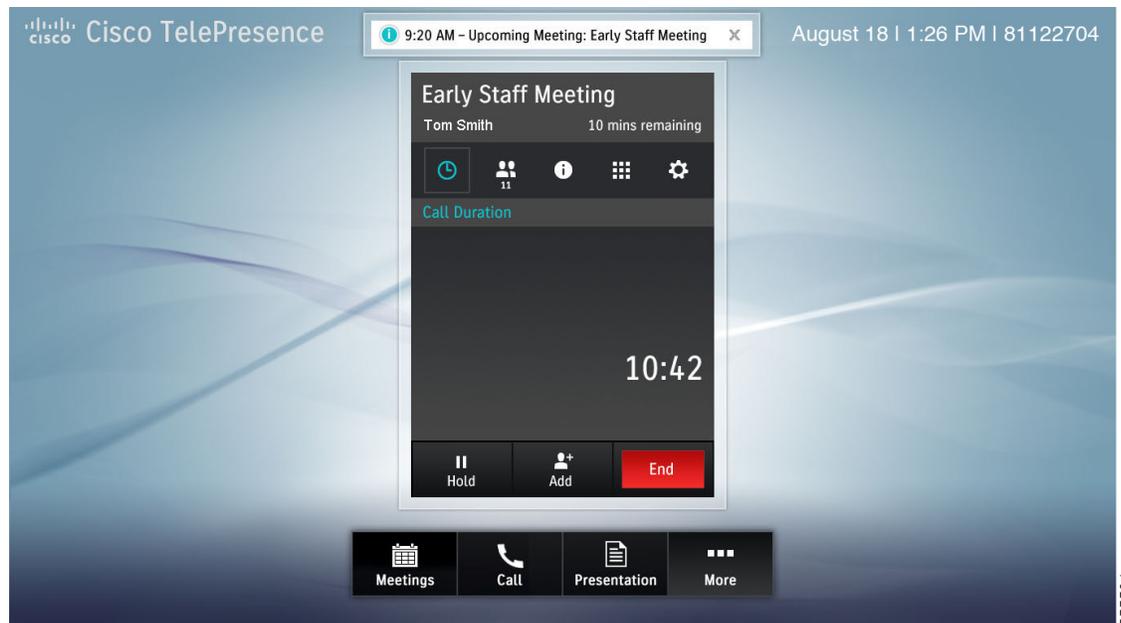
ステップ 2 参加する会議をリストから検索し、[Join] ボタンをタップします。[Joining] 画面は、会議への参加要求が処理されていることを示します (図 2-5)。

図 2-5 [Joining] 画面



会議が接続されると、その会議のウィンドウが表示され、デフォルトで [Call Duration] ウィンドウが開きます (図 2-6)。

図 2-6 会議のウィンドウ



- ステップ 3** 第 3 章「Cisco TelePresence Touch 12 の In-Call ツール」の「会議コントロールの使用法」の情報を参照して会議のオプションを管理します。
-

コールの開始

コールを開始するには、次の方法があります。

- 「キーパッドを使用する場合」(P.2-6)
- 「ディレクトリ検索を使用する場合」(P.2-7)
- 「お気に入りの使用」(P.2-10)

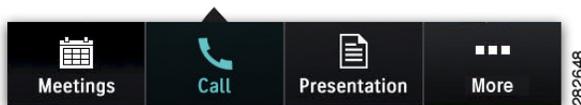
キーパッドを使用する場合



ヒント

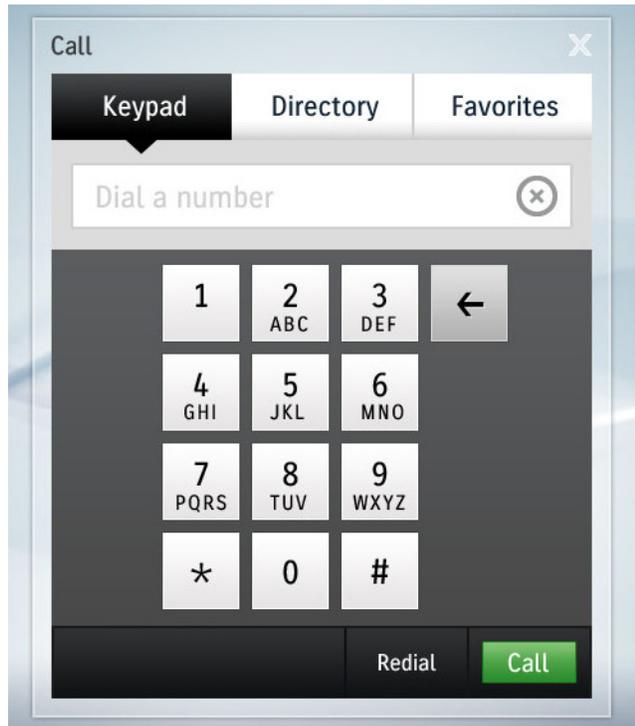
電話番号を手動でダイヤルしたり、タッチ トーンを入力する必要がある場合、数値キーパッドを使用できます。

- ステップ 1** プライマリ ボタンバーの [Call] ボタンをタップします。



- ステップ 2** 表示されるキーパッドでダイヤルする番号をタップします (図 2-7)。

図 2-7 キーパッドからのコールの発信



ステップ 3 [Call] ボタンをタップします。

ステップ 4 タッチ トーンを使用する必要がある場合は、In-Call ウィンドウの [Touch Tones] ボタンをタップします。



タッチ トーンの詳細については、[タッチトーンの送信](#)を参照してください。

ディレクトリ検索を使用する場合

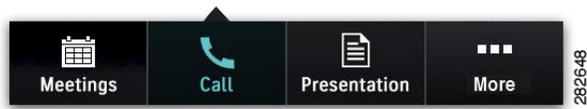


ヒント

[Directory] タブは、管理者がディレクトリを設定している場合のみ表示されます。

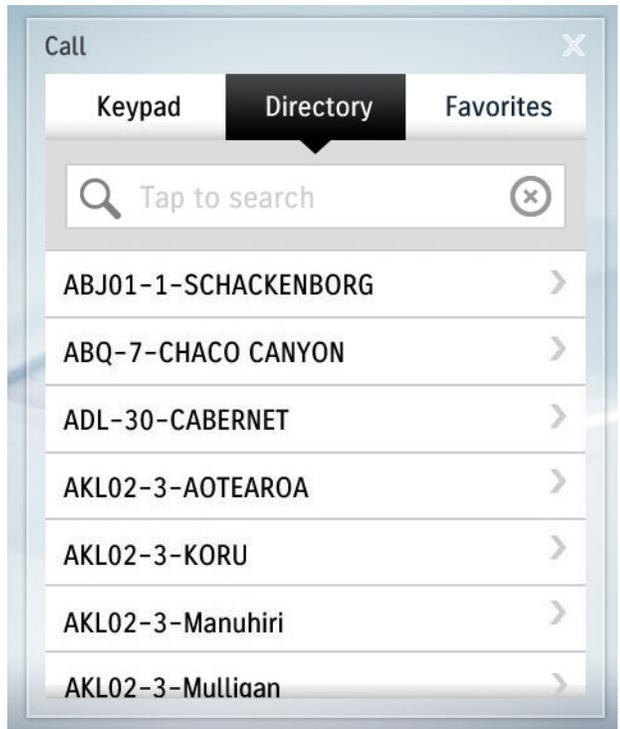
ディレクトリ検索を使用してコールを発信するには、次の手順に従います。

ステップ 1 プライマリ ボタン バーの [Call] ボタンをタップします。



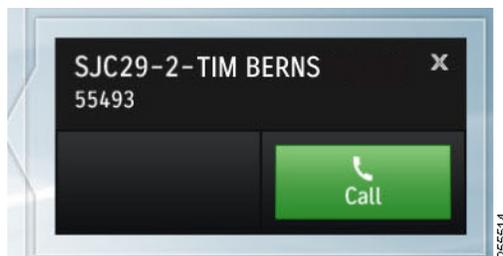
ステップ 2 [Directory] タブをタップしてディレクトリを表示します (図 2-8)。

図 2-8 ディレクトリからのコールの発信



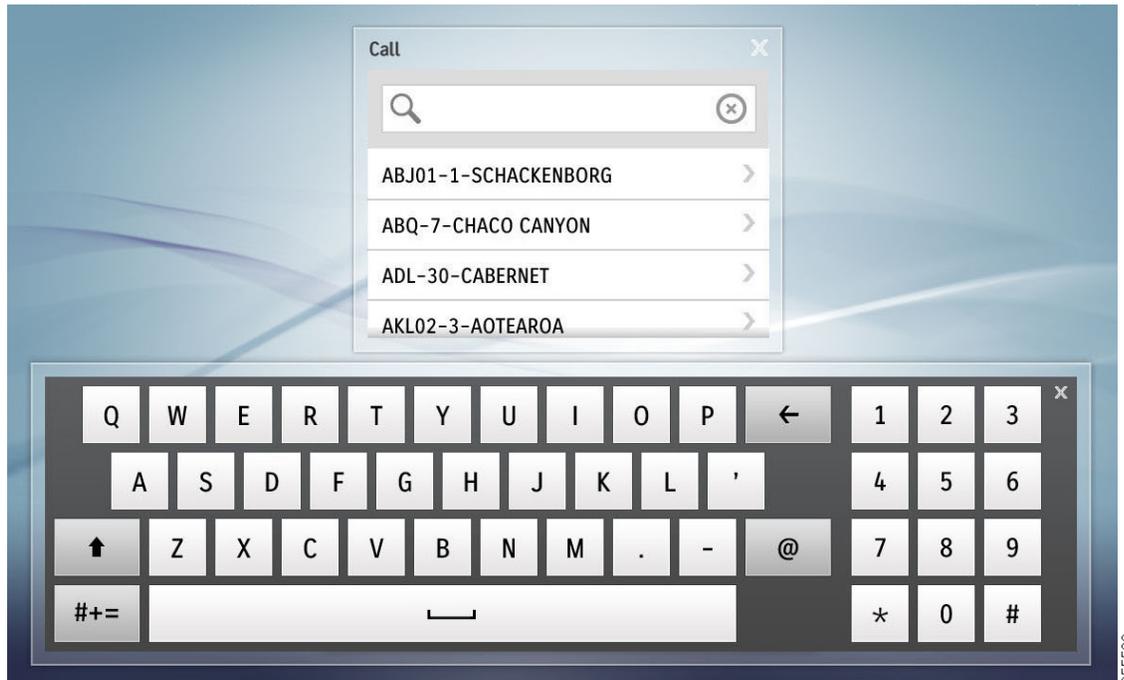
ステップ 3 指で [Directory] 内のエントリをスクロールし、名前をタップしてそのユーザまたは会議室の連絡先カードを開きます (図 2-9)。

図 2-9 連絡先カード



ステップ 4 または、検索フィールド内を 1 回タップして標準キーボードを表示します (図 2-10)。

図 2-10 標準キーボードを使用したディレクトリ検索



ステップ 5 ユーザまたは会議室の名前を入力します。入力したテキストが検索フィールドに表示されます。



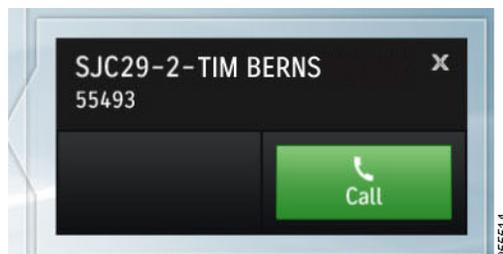
ヒント

標準キーボードと特殊文字キーボードを切り替えるには、[#+=] ボタンまたは [ABC] ボタンをタップします。

任意のタイミングでキーボードを閉じるには、[X] アイコンをタップするか、キーボード以外の場所をタップします。

ステップ 6 連絡先カードの [Call] ボタンをタップし、そのユーザまたは会議室にコールします (図 2-11)。

図 2-11 連絡先カード



お気に入りの使用

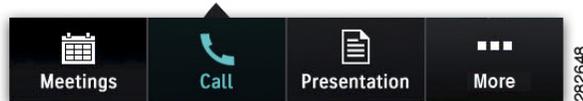


ヒント

[Favorites] タブは、管理者がお気に入りリストを設定している場合のみ表示されます。

お気に入りを使用してコールを発信するには、次の手順に従います。

ステップ 1 プライマリ ボタン バーの [Call] ボタンをタップします。



ステップ 2 [Favorites] タブをタップします (図 2-12)。

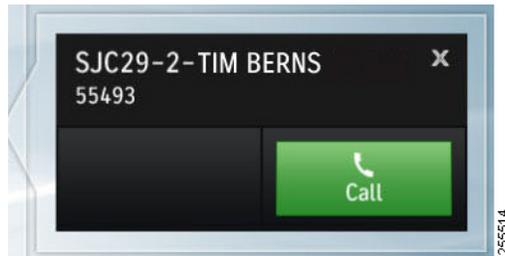
図 2-12 お気に入りからのコールの発信



ステップ 3 指で [Favorites] 内のエントリをスクロールし、名前をタップしてそのユーザの連絡先カードを開きます。

ステップ 4 連絡先カードの [Call] ボタンをタップし、そのユーザにコールを発信します (図 2-13)。

図 2-13 連絡先カード



コールへの応答

コールに応答するには、次の 2 つの方法があります。

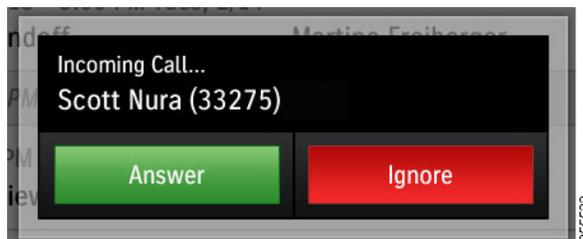
- 「タッチ スクリーンからの着信コールへの応答」(P.2-11)
- 「コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了」(P.2-12)

タッチ スクリーンからの着信コールへの応答

タッチ スクリーンを使用して着信コールに応答するには、次の手順に従います。

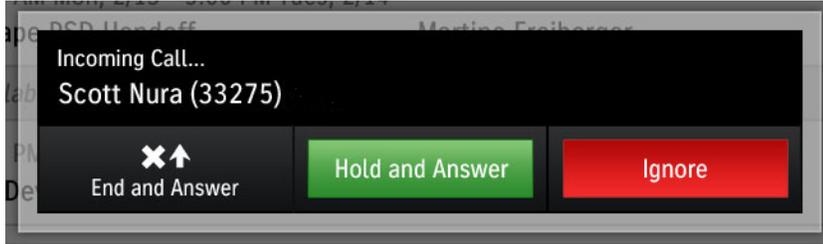
- ステップ 1** アクティブなコールがない場合は、[Incoming Call] ウィンドウで次のいずれかをタップします (図 2-14)。
- [Answer] : 着信コールに応答し、[Incoming Call] ウィンドウを閉じます。
 - [Ignore] : 呼び出し音を止めてコールを **iDivert** に送信します。自動応答が設定されている場合、[Ignore] をタップすると着信コールの自動応答は無効になります。コールが着信したときに開いていたアプリケーションは、画面に残ったままになります。

図 2-14 アクティブコールがない場合 : [Answer] および [Ignore] オプション



- ステップ 2** アクティブ コールがある場合、またはコールがリモート保留の場合、[Incoming Call] ウィンドウで次のいずれかをタップします (図 2-15)。
- [End and Answer] : 現在のコールを終了し、着信コールに応答し、[Incoming Call] ウィンドウを閉じます。
 - [Hold and Answer] : 現在のコールを保留にし、着信コールに応答し、[Incoming Call] ウィンドウを閉じます。

図 2-15 アクティブ コールがある場合 : [Answer] および [Ignore] オプション



ヒント

[Incoming Call] ウィンドウを閉じるには、処理を選択する必要があります。

コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了を参照してください。

コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了

Cisco TelePresence Touch 12 の画面に [Incoming Call] ダイアログが表示されたときに、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Answer] ボタンを押してコールに応答します (図 2-16)。このボタンを選択すると、緑色に点灯します。コール中の場合は、このボタンを押すとコールが終了します。タッチ スクリーンからの着信コールへの応答を参照してください。

図 2-16 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Answer] ボタン



コールのミュート

アクティブ コール中に、自分自身および会議室全体をミュートするには、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Mute] ボタンを押します (図 2-17)。このボタンを選択すると赤色に点灯し、対応するミュートアイコンが CTS メインディスプレイに表示され、ミュートされていることを示します。自分自身のミュートを解除するには、[Mute] ボタンをもう一度押すだけです。



ヒント

会議室のいずれかのマイクの [Mute] ボタンを押して、会議をミュートすることもできます。

図 2-17 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Mute] ボタン



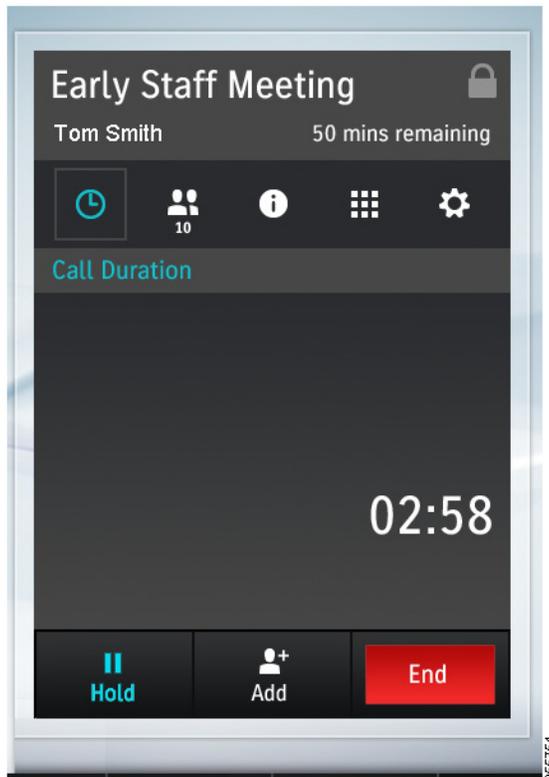
282490

自分自身の保留/再開

会議中に自分自身を保留にした後、コールを再開するには、次の手順に従います。

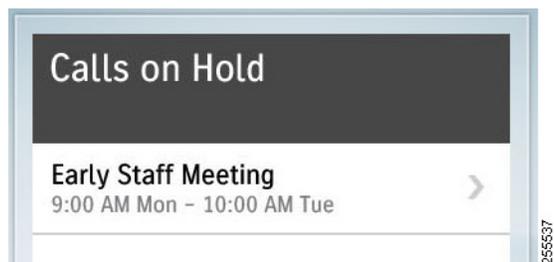
ステップ 1 [Hold] ボタンをタップします (図 2-18)。

図 2-18 自分自身の保留



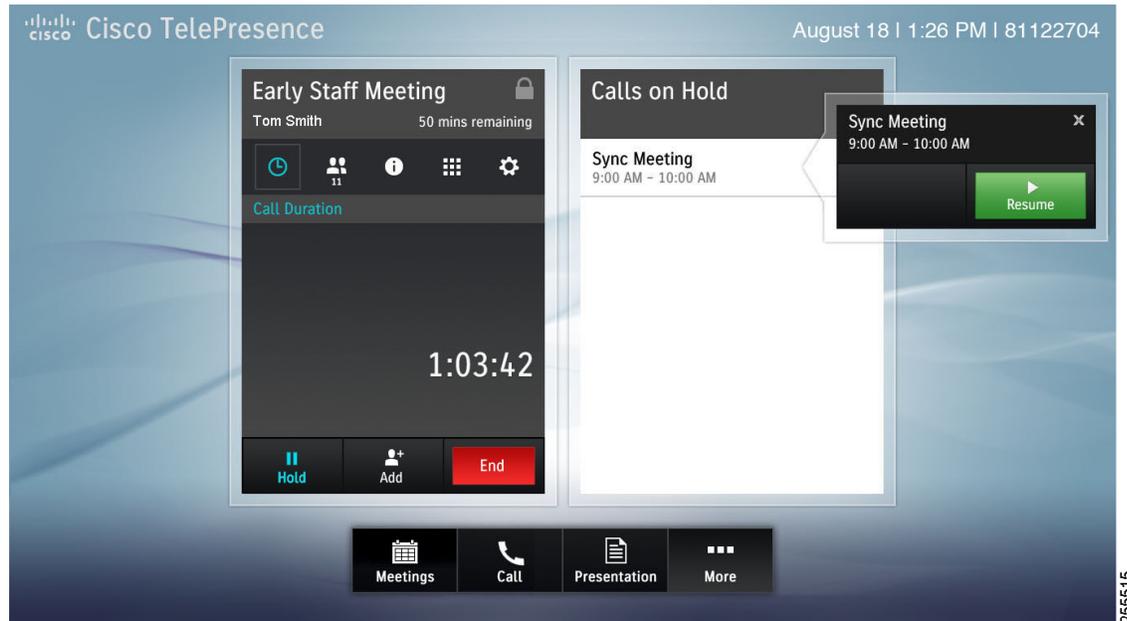
[Calls on Hold] ウィンドウが表示されます (図 2-19)。

図 2-19 Calls on Hold



ステップ 2 会議コンテキストカードの [Resume] ボタンをタップし、会議に戻ります。図 2-20 に、保留/再開を示します。

図 2-20 自分自身の保留と再開



255515

音量その他のコール設定の制御

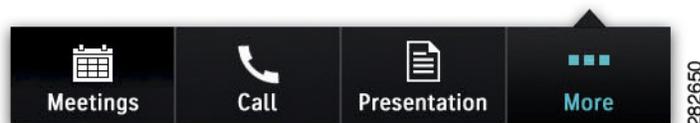
次の設定の制御方法について説明します。

- 「着信コール」 (P.2-15)
- 「Meeting Volume」 (P.2-17)
- 「Media Volume」 (P.2-18)
- 「Appearance」 (P.2-19)
- 「コンソールの [Volume] ボタンを使用した会議の音量の調節」 (P.2-20)

着信コール

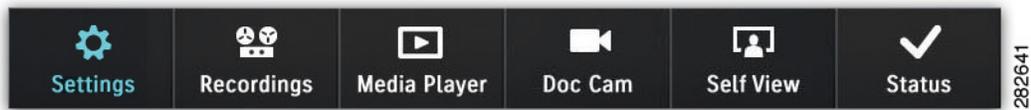
着信コールの音量と呼び出し音の設定を制御するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタンバーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタンバーが表示されます。



282650

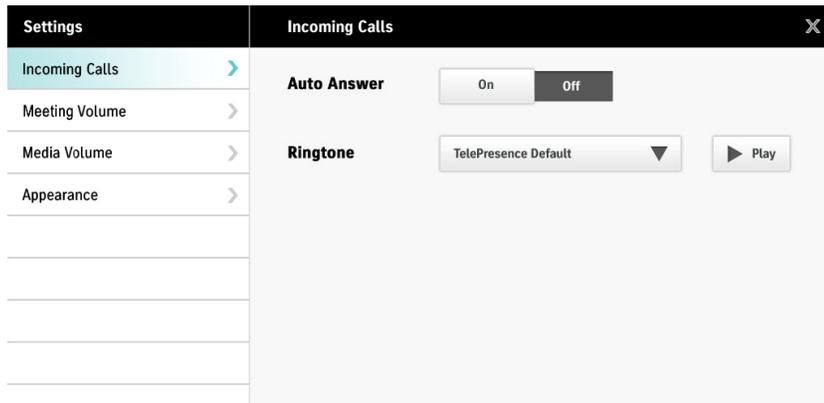
ステップ 2 セカンダリ ボタンバーの [Settings] をタップします。[Settings] ウィンドウが表示されます。



ステップ 3 [Incoming Calls] をタップします。

ステップ 4 [Auto Answer] 設定が変更できるように設定されている場合、セレクトタをタップしてドラッグし、[On] または [Off] を切り替えます (図 2-21)。設定されていない場合、自動応答はデフォルトで [Off] に設定されています。

図 2-21 自動応答と呼び出し音の設定



ステップ 5 呼び出し音を変更できるように設定されている場合、下向き矢印をタップしてメニューバーを開き (図 2-21)、タップして使用可能な呼び出し音を選択します。設定されていない場合、シスコの標準呼び出し音がデフォルトです。

ステップ 6 [Play] をタップすると、選択した呼び出し音のサンプルを聞くことができます。セレクトタを放すとサンプル呼び出し音が聞こえ、呼び出し音音量インジケータが表示されます (図 2-22)。

図 2-22 呼び出し音音量インジケータ

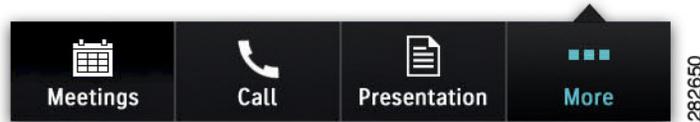


ステップ 7 設定の変更が完了したら、[Incoming Calls] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから [Meeting Volume] または別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

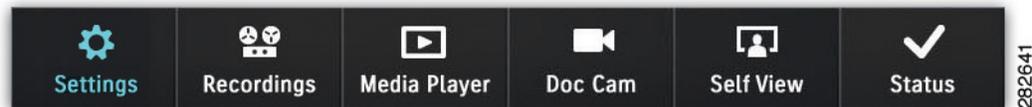
Meeting Volume

会議、スピーカー、およびヘッドセットの音量を調節し、音声モードを選択するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタンバーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタンバーが表示されます。

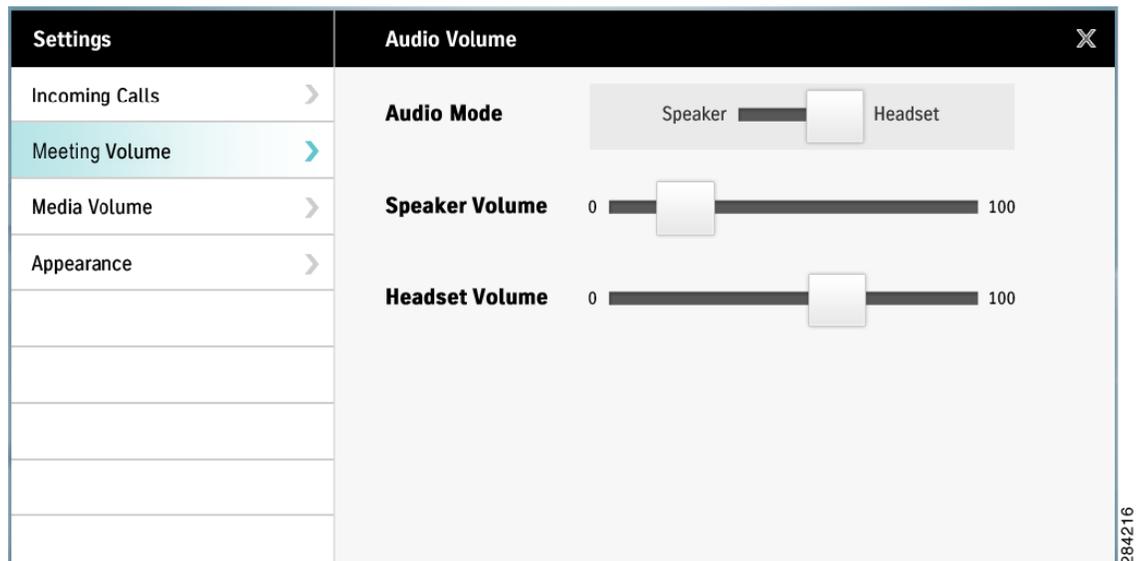


ステップ 2 セカンダリ ボタンバーの [Settings] をタップします。



ステップ 3 [Meeting Volume] をタップします。[Meeting Volume] ウィンドウが表示されます (図 2-23)。

図 2-23 音声モードと音量の設定



ステップ 4 [Audio Mode] を選択します。ヘッドセットが CTS エンドポイントに接続されている場合、スライダをタップしてドラッグし [Speaker] または [Headset] を選択します。



ヒント

ヘッドセット オプションが設定されていない場合は、ヘッドセット調整コントロールは表示されません。

ステップ 5 スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Speaker Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、スピーカー音量インジケータが表示されます (図 2-24)。

図 2-24 スピーカ音量インジケータ



ステップ 6 スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Headset Volume] を調整します。サンプルオーディオ トーンは再生されませんが、ヘッドセット音量インジケータが表示されます (図 2-25)。

図 2-25 ヘッドセット音量インジケータ

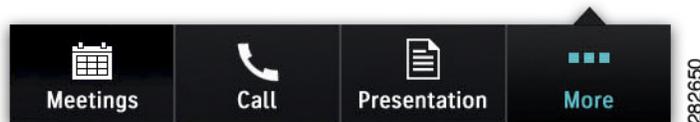


ステップ 7 設定の変更が完了したら、[Meeting Volume] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから [Media Volume] または別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

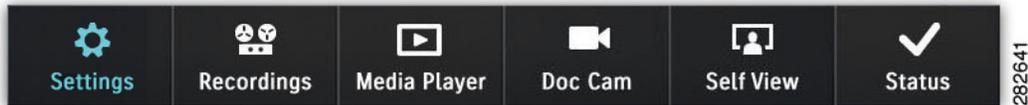
Media Volume

メディア プレーヤー (DMP) およびプレゼンテーションの音声用のスピーカとヘッドセットの音量を調節するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタン バーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタン バーが表示されます。

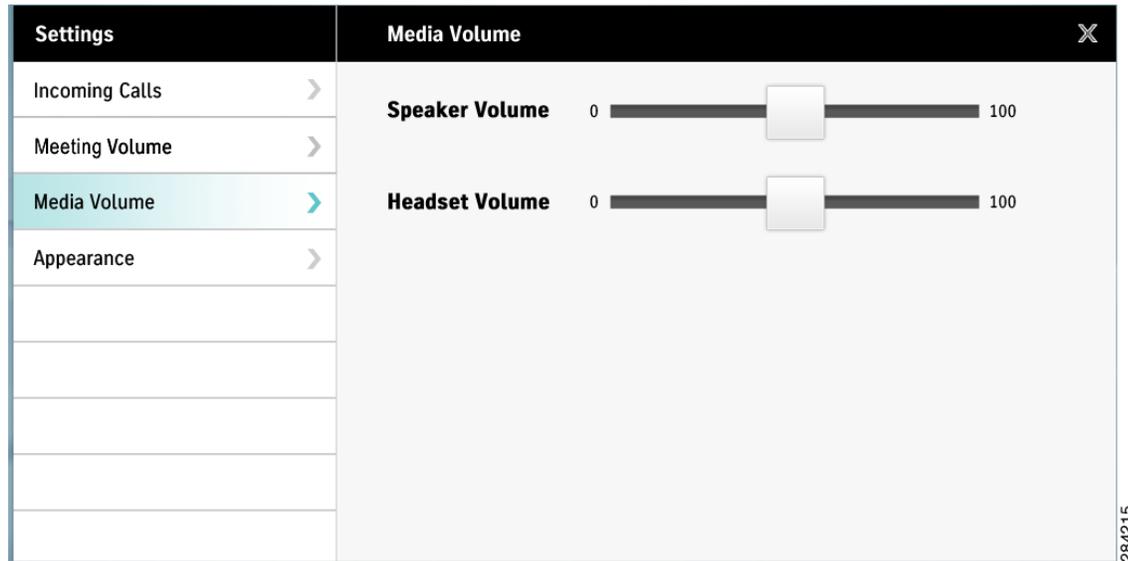


ステップ 2 セカンダリ ボタン バーの [Settings] をタップします。



ステップ 3 [Media Volume] をタップします。[Media Volume] ウィンドウが表示されます (図 2-23)。

図 2-26 メディア音量の設定

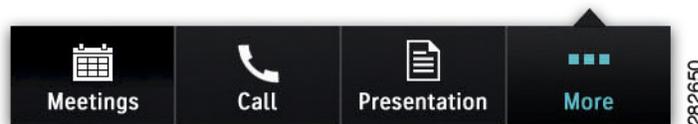


- ステップ 4** スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Speaker Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、音量インジケータが表示されます (図 2-22)。
- ステップ 5** スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Headset Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、音量インジケータが表示されます。
- ステップ 6** 設定の変更が完了したら、[Media Volume] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから [Appearance] または別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

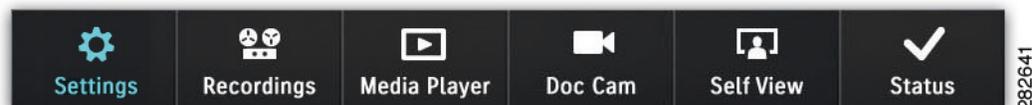
Appearance

Cisco TelePresence Touch 12 の画面の明るさを調節するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** ボタン バーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタン バーが表示されます。

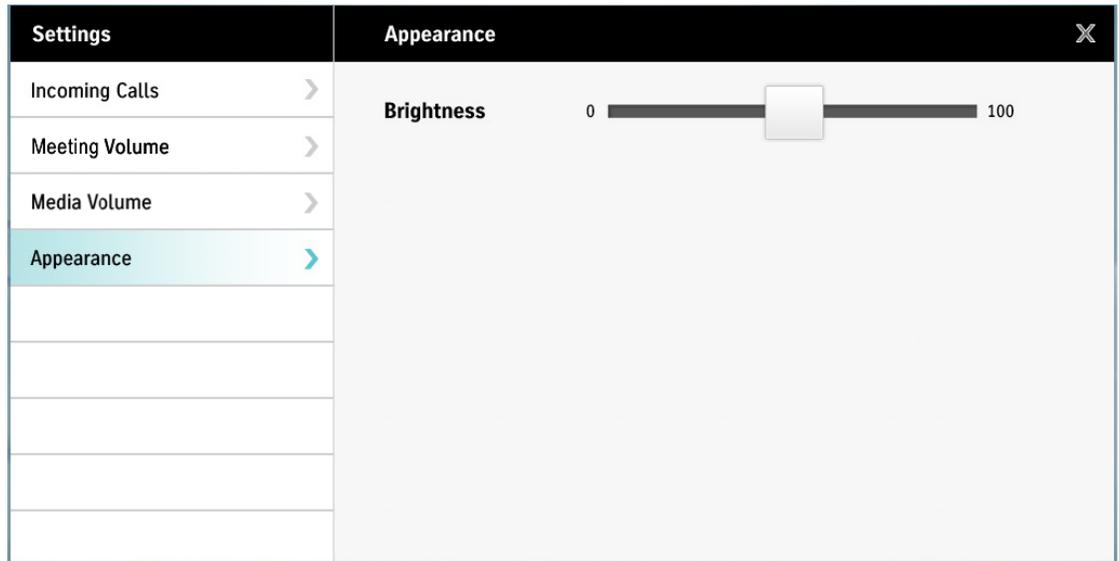


- ステップ 2** セカンダリ ボタン バーの [Settings] をタップします。



- ステップ 3** [Appearance] をタップします。[Appearance] ウィンドウが表示されます (図 2-23)。

図 2-27 画面の外観の設定



ステップ 4 スライダーをタップし、目的の位置までドラッグして、[Brightness] を調整します。

ステップ 5 設定の変更が完了したら、[Appearance] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

コンソールの [Volume] ボタンを使用した会議の音量の調節

コールの音量は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンを使用して調節することもできます (図 2-28)。[Volume] ボタンは、呼び出し音、スピーカ、DMP/プレゼンテーションの音量を調節します。コンソールの [Volume] ボタンを使用すると、[More] > [Settings] をタップする場合と同様の音量設定の変更を行うことができます。

図 2-28 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Volume] ボタン



282490

